Lubber’s Point

海上技術コース（航海専修）　（機関専修）
海上技術コース（航海専攻）　（機関専攻）

JMETS Japan agency of Maritime Education and Training for Seafarers

独立行政法人海技教育機構

MARINE TECHNICAL COLLEGE

海技大学校

“Lubber's Point” とは船のコンパスに取り付けられた船首、
船尾、右舷、左舷方向を指示する4本の基線を意味します。
自船の針路を読み、 航海する為の重要な役割を担います。

-Contents-

01　海技大学校の教育・訓練

02　海上技術コースの概要

03　年間行事

04　CAMPUS MAP

05　学生寮

06　卒業後の進路

07　学費・奨学金

08　学校生活・卒業生からのメッセージ

-海技大学校の沿革-

昭和２０年４月	海技専門学院官制（勅令第１６７号）の制定により、海技専門学院を設置。
昭和２１年１月	再度の戦災により、校舎施設の全部を失った為、日本海運報国団の施設であった現在の校舎施設（芦屋）を借用しここに本部を移し授業を継承。
同年　４月	教室、寄宿舎不足のため、元高等商船学校大阪分校（泉佐野市）及び元岸和田海員養成所の施設を継承し、また「ばいかる丸」を借用して尼崎に係留し、分教場とする。
昭和２３年４月	深江の海岸教室等が復旧、本部は深江に復帰。
昭和２６年４月	船員通信教育制度が設けられ、通信教育を開始。
昭和２７年５月	神戸商船大学が設置され、深江の全施設は同大学へ移管されたのに伴い、本校は同一施設を共用。
昭和３０年７月	運輸省設置法の改正により本校を芦屋に移転。
昭和３４年４月	総合実験室（第一実習実験棟）竣工。
昭和３６年４月	校名を海技大学校と改称。
同年　６月	通信教育部に指導課及び通信生課の設置並びに図書館の設置。
昭和４２年３月	運用技業室及び機関科実習工場竣工。
昭和４５年３月	ﾚｰﾀﾞ･ｼﾐｭﾚｰﾀ室竣工。
昭和４６年６月	内燃自動制御実験室（内燃機関室実習実験棟）竣工。
昭和５１年３月	自動制御基礎実習実験室（第二実習実験棟）竣工。
昭和５６年４月	倉敷市に児島分校、七尾市に七尾分校を設置。
昭和６０年３月	第三実習実験棟竣工。
平成４年３月	学制改革の実施並びに七尾分校の廃止。
平成９年３月	兵庫県南部地震により本館及び講堂・体育館が使用不能となったため、前記の施設を集約し本館として再建。
平成１３年１月	省庁再編により運輸省から国土交通省所属となる。
平成１３年４月	中央省庁等改革基本法により独立行政法人へ移行。
平成１５年４月	独立行政法人海技大学校組織規程の改正により教養科教室の廃止。
平成１８年４月	独立行政法人海員学校と統合し、独立行政法人海技教育機構となる。
平成２１年３月	倉敷市における児島分校の教育業務を停止。
平成２５年１２月	水先教育ｾﾝﾀｰの設置。
平成２８年４月	独立行政法人に係る改革を推進するための国土交通省関係法律の整備に関する法律により、独立行政法人航海訓練所と統合。
令和６年３月	機関訓練ｾﾝﾀｰの開設。

Pick up!

海技大学校を構成する6分野

新人教育

海上技術コース（専修）
海上技術コース（専攻）
外航基幹職員養成コース

外国人教育

国際協力コース

資格教育

海技士コース
（三級～五級）
船舶保安管理者コース

水先教育

水先コース
（一級～三級）

通信教育

海事教育通信コース

実務教育

運航実務コース

海技大学校は、船員（船員であった者及び船員になろうとする者を含む。）に対し、
船舶の運航に関する高度の学術及び技能を教授すること等により、船員の資質の向上を図り、
もって海上輸送の安全の確保に資すること を目的とする、船員の教育機関です。

海技大学校では「新人教育」「資格教育」「実務教育・訓練」、
そして「水先教育」まで多岐にわたって教育・訓練を提供しています。

船舶の安全かつ効率運航の確保、海技の維持・向上と伝承のため、
海事社会のニーズを敏感にキャッチしつつ、優秀な人材を安定的に育成できるよう、
長期的な視野を持って海技者のキャリアパスをサポートして参ります。

Pick up!

海上技術コース（航海専修）（機関専修）

・・・「海上技術短期大学校」卒業生が船舶職員としてさらなる資質の向上を図るとともに、三級海技士として必要な基礎知識・技能の取得を目的とするコース

海上技術コース（航海専攻）（機関専攻）

・・・一般大学等を卒業した方を対象に、通信教育、座学及び乗船実習を効果的に組合せ、三級海技士免許の取得と実践力を養うコース

海技大学校には、海上技術コース以外にも様々なコースがあります。

年齢や経験、国籍を超えた交流ができ、充実した時間が過ごせます。

海技士コース（三級～五級）

・・・海技士免許の取得を目的としたコースで、幅広い年齢層の方が学ばれています。卒業者は国家試験のうち、筆記試験が免除されます。

水先コース（一級～三級）

・・・水先に係る知識及び技能を教授し、船舶の安全と安心を導く水先人の養成を行うコースです。

運航実務コース

・・・新人から船長・機関長といったベテランまで、あらゆる段階の船員が「技」を磨くコースです。シミュレータ等の機器を活用した訓練が行われます。

外航基幹職員養成コース

・・・外航商船での実務経験等を通じて、即戦力として活躍できる船員のキャリア形成を図ることを目的として、外航日本人船員確保・育成スキームを実施しています。

船舶保安管理者コース

・・・国際航海船舶及び国際港湾施設の保安の確保等に関する法律第８条第２項の規定による同条第１項の船舶保安管理者講習（SSO講習）を実施しています。

海事教育通信コース

・・・働きながら自分のペースで学習し、三級海技士の免許取得を目指すコースです。

国際協力コース

・・・開発途上国におけるハイレベルの船員や海事教育者を育成するコースで、世界規模で船舶の安全運航や環境保護等を図ります。

海技士教育科海技専攻課程
海上技術コース（航海専修）（機関専修）

Marine Technique Course
(Advanced Navigation Class)(Advanced Engineering Class)

定員・受験資格・
募集要項等はコチラ
▼

コースの特長

海技士としてさらなる高みを目指して

　海上技術短期大学校専修科の教育を修了した者がより上級の教育に進むことができる課程です。基本教育から高度な教育までの一貫教育を実施することにより、資格教育の充実・強化を図ることを目的としています。

　登録船舶職員養成施設(三級海技士(航海・機関)第一種養成施設)として、三級海技士になろうとする者に三級海技士として必須の知識や技能の定着を図るとともに、運航現場に早期に対応できるよう、実践的な知識・技能の習得を目標とし、多岐にわたる能力の強化を図ります。

- 基礎力の向上
  演習・実習
- 英語力の
  向上
- 総合実習
  マネジメント
  関係科目
- 調査
  文書作成
  プレゼン能力
- トラブル解決
  能力
  積極性涵養
- リーダーシップ
  コミュニケー
  ション能力

カリキュラム

高等学校

海上技術短期大学校*
座学　1年3か月
乗船実習　9か月

*宮古・清水・波方・小樽・唐津
（小樽・唐津は航海専科校）

卒業後　口述試験受験
四級海技士
（航海及び機関）
免状取得*

*小樽・唐津は
四級海技士(航海)免状取得

海技大学校 海上技術コース
（航海専修）（機関専修）
座学　1年6か月
乗船実習　6か月

卒業後　口述試験受験
三級海技士
（航海又は機関）
免状取得

Point!

・「座学」及び「乗船実習」の組み合わせ。
・座学期間中は校内練習船やシミュレータ及び各種訓練機材を活用し、実践的な授業を行います。
・併せて免許講習(上級航海英語講習又は上級機関英語講習)及びECDIS講習(航海専修のみ)を受講します。
・乗船実習中にGMDSS認定新規訓練(航海専修のみ)を受講します。

〈卒業後の特典〉

・三級海技士（航海又は機関）にかかる海技士国家試験の筆記試験が免除。
・三級海技士（航海又は機関）にかかる海技士国家試験（口述試験）受験のための乗船履歴が付与されます。

航海専修コース			
航海学Ⅰ*	船舶工学Ⅱ*	海事法規*	上級海上無線演習
航海学Ⅱ*	航海力学*	法規演習	航海数学
航海学演習*	航海当直*	海事英語基礎Ⅰ	船舶力学
ﾚｰﾀﾞ -ARPAｼﾐｭﾚｰﾀ航法実習*	海洋気象*	海事英語基礎Ⅱ	総合実習*
航海計器*	操船論*	海事英語講読Ⅰ	海運特論
電波工学*	載貨論*	海事英語講読Ⅱ	運用実習
航海計器実習*	船舶安全*	海事英会話Ⅰ	運用特論
制御工学*	船舶衛生*	海事英会話Ⅱ	海技実習
計器演習	運用演習	船員実務英会話	船舶安全演習
船舶工学Ⅰ*	航海法規Ⅰ*	通信英会話	安全管理システム
	航海法規Ⅱ*	GMDSS演習	特別研究

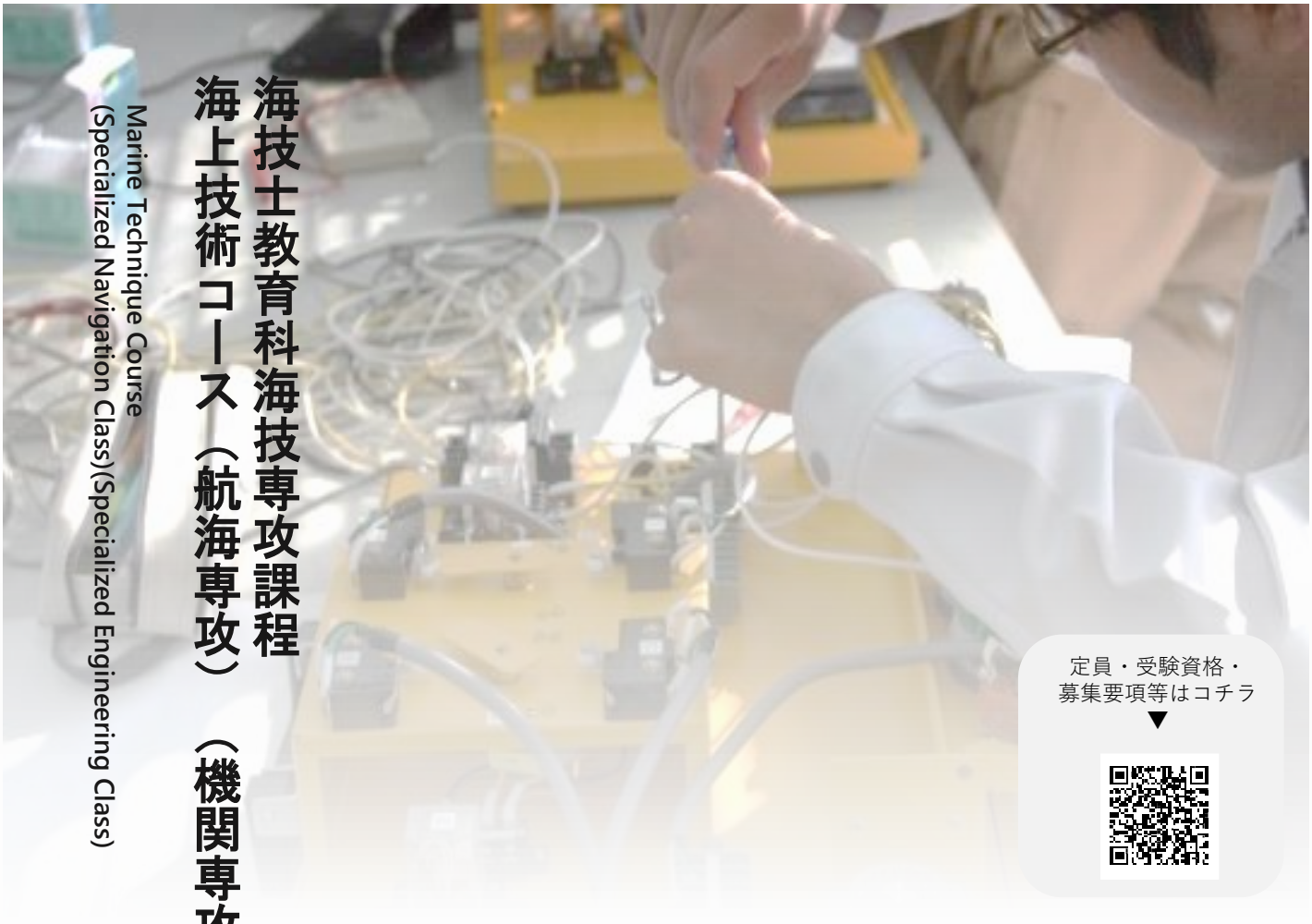
・三級海技士（航海）第一種養成施設
必要履修科目として21単位以上（「科目名」に＊）
・卒業に必要な単位は73.5単位
（JMETS大型練習船での学外乗船実習25単位を含む）
・1単位は30時間

機関専修コース			
ボイラⅠ*	熱力学*	機関英語演習	ディーゼル・ガスタービンⅡ
蒸気タービンⅠ*	力学・流体力学*	機関実務英会話Ⅰ	蒸気タービンⅡ
ディーゼル・ガスタービンⅠ*	材料工学*	機関実務英会話Ⅱ	補機・甲板機器Ⅱ
推進装置*	造船工学*	情報処理*	電気・電子機器
補機・甲板機器Ⅰ*	製図*	基礎数学	制御工学Ⅱ
電気工学*	執務一般Ⅰ*	工業数学	機関室シミュレータ実習Ⅰ*
電子工学*	執務一般Ⅱ	工業化学	機関室シミュレータ実習Ⅱ
制御工学Ⅰ*	海事法規*	海運特論	学内船舶実習
計測工学*	船舶衛生*	安全管理システム	機関実務教育実習
燃料・潤滑油*	機関英語基礎	ボイラⅡ	特別研究

・三級海技士（機関）第一種養成施設
必要履修科目として22単位以上（「科目名」に＊）
・卒業に必要な単位は74単位
（JMETS大型練習船での学外乗船実習25単位を含む）
・1単位は30時間

Pick up! **－特別研究－**

通称「トッケン」。
教員のアドバイスを受けながら自分の興味のある一つのテーマについて、自主的に調査・研究を行い、調査能力、文書作成能力、プレゼンテーション能力等を習得します。論文が完成した時の達成感・満足感と共に一回り大人になった自分が・・・。



海技士教育科海技専攻課程
海上技術コース（航海専攻）（機関専攻）

Marine Technique Course
(Specialized Navigation Class)(Specialized Engineering Class)

定員・受験資格・
募集要項等はコチラ
▼

コースの特長

一般大学等卒業後に大型船の船乗りの道へ

「４年制大学・短期大学・高等専門学校」を卒業またはこれと同等と認められる者を対象に、船舶職員となるために必要な教育訓練を行うことを目的としています。

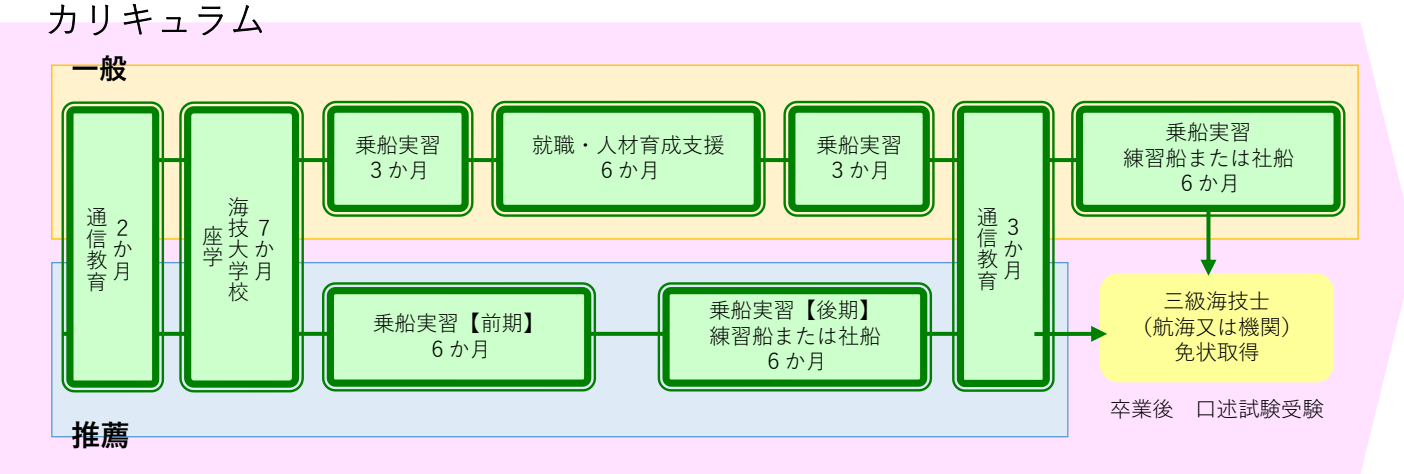
教育訓練は座学、乗船実習及び通信教育の３種類を効果的に組み合わせた方法で進められ、２年または２年６か月で三級海技士免許の取得と即戦力の養成をめざします。

在学期間中、JMETS大型練習船において、合計１２か月の乗船実習（外国への遠洋航海を含む。）があります。（社船実習船での実習が可能な場合は、うち６か月は社船実習船に乗船）

※機関専攻(一般、推薦)の乗船実習については、12か月のうち3か月の機構練習船における乗船実習を陸上訓練(機関訓練センター)にて代替します。

- 基礎・基本の確実な定着
- 英語力の向上
- 即戦力を磨く実習・訓練
- 資格取得就職支援
- トラブル解決能力積極性涵養
- リーダーシップコミュニケーション能力

カリキュラム



Point!

・「座学」、「乗船実習」及び「通信教育」の組み合わせ。

・一般入学者は通信教育期間中に特別講義を行います。

・座学期間中は校内練習船やシミュレータ及び各種訓練機材を活用し、実践的な授業を行います。

・三級海技士の免許取得に必要な海技免許講習*、及びECDIS講習（航海専攻のみ）を受講。

＊海技免許講習：レーダー観測者講習（航海科のみ）・レーダー・自動衝突予防援助装置シミュレーター講習（航海科のみ）
救命講習・消火講習・上級航海（又は機関）英語講習

・無線従事者免許の取得など、船員として必要な知識・能力の習得もサポート

・乗船実習中にGMDSS認定新規訓練(航海専攻のみ)を受講します。

・機関専攻（一般、推薦）の乗船実習については、12か月のうち3か月の機構練習船における乗船実習を陸上訓練（機関訓練センター）にて代替します。

〈卒業後の特典〉

・三級海技士（航海又は機関）にかかる海技士国家試験の筆記試験が免除。

・三級海技士（航海又は機関）にかかる海技士国家試験（口述試験）受験のための乗船履歴が付与されます。

航海専攻コース			
航海Ⅰ	運用Ⅲ	海事英語	救命講習
航海Ⅱ	運用Ⅳ	ECDIS訓練	消火講習
航海Ⅲ	法規Ⅰ・法規Ⅱ	無線工学	レーダー観測者講習
運用Ⅰ	法規Ⅲ	無線法規	レーダーARPAシュミレータ講習
運用Ⅱ	総合学習	電気通信術	

・三級海技士（航海）第一種養成施設必要履修科目として35単位以上（航海15単位、運用16単位、法規4単位以上）
・要卒単位90.1単位以上（内、必修科目は40.1単位、学外船舶実習50単位）
・海事英語は免許講習(上級航海英語講習)に相当
・1単位は30時間とする
・JMETS大型練習船での学外船舶実習の単位数は50単位

機関専攻コース			
ボイラ	制御工学	製図	機関英語
蒸気タービン	燃料・潤滑論	執務	機関英語実習
ディーゼル機関	熱力学	船舶管理	機関実務英会話Ⅰ
推進論	力学及び流体力学	海事法規	機関実務英会話Ⅱ
補機及び甲板機器	機関算法	機関実習	救命講習
電気工学	材料工学	工作実習	消火講習
電子工学	船舶工学	海技丸実習	

・三級海技士（機関）第一種養成施設必要履修科目として35単位以上（機関32単位、執務一般3単位以上）
・要卒単位87.8単位（内、必修科目は37.8単位、学外船舶実習50単位）
・機関実務英会話Ⅰは免許講習(上級機関英語講習)に相当
・1単位は30時間とする
・JMETS大型練習船での学外船舶実習の単位数は50単位

Annual Events

☆･･･専修のみ　△･･･専攻推薦のみ

★･･･専攻のみ　▲･･･専攻一般のみ

※年間行事は変更になることがあります。

〈1年次〉

4月 April
- 入学式、オリエンテーション
- 通信教育開始★
- 前期授業開始☆
- 学内総合消火避難訓練☆▲

5月 May
- 通信教育終了★

6月 June
- 座学開始★

7月 July
- 学生寮夜間避難訓練▲（入寮者のみ）
- 夏季休業開始☆

8月 August
- 夏季休業開始★
- 夏季休業終了

9月 September
- 前期試験開始☆
- 前期授業終了☆

10月 October
- ①乗船実習開始☆

11月 November
- 学内総合消火避難訓練★

12月 December
- 定期試験★
- 座学終了★
- ①乗船実習終了☆

1月 January
- ❶乗船実習開始★
  陸上訓練(機関専攻)開始★
- 冬季休業終了☆
- 後期授業開始☆

2月 February

3月 March
- 後期試験☆
- 後期授業終了☆
- 春季休業開始☆
- ❶乗船実習終了▲
  陸上訓練(機関専攻)終了★

〈2年次〉

4月 April
- 春季休業終了☆
- 前期授業開始☆
- 就職・人材育成支援▲
- 学内総合消火避難訓練☆▲
- ❶乗船実習(機関専攻)開始△

5月 May

6月 June
- 前期試験☆
- 前期授業終了☆
- ❶乗船実習終了△

7月 July
- ②乗船実習開始☆
- 社船実習開始△

8月 August

9月 September
- ②乗船実習終了☆

10月 October
- ❷乗船実習開始▲
- 後期授業開始☆
- 学内総合消火避難訓練☆

11月 November

12月 December
- 社船実習終了△
- ❷乗船実習終了▲
- 冬季休業開始☆

1月 January
- 冬季休業終了☆
- 通信教育開始★

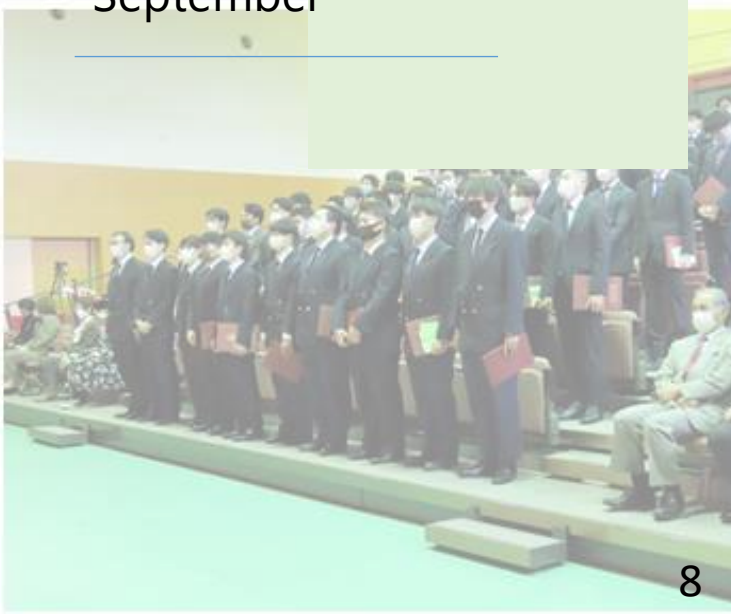
2月 February
- 特別研究最終発表会☆
- 卒業試験

3月 March
- 通信教育終了★
- 卒業式☆△

〈3年次〉

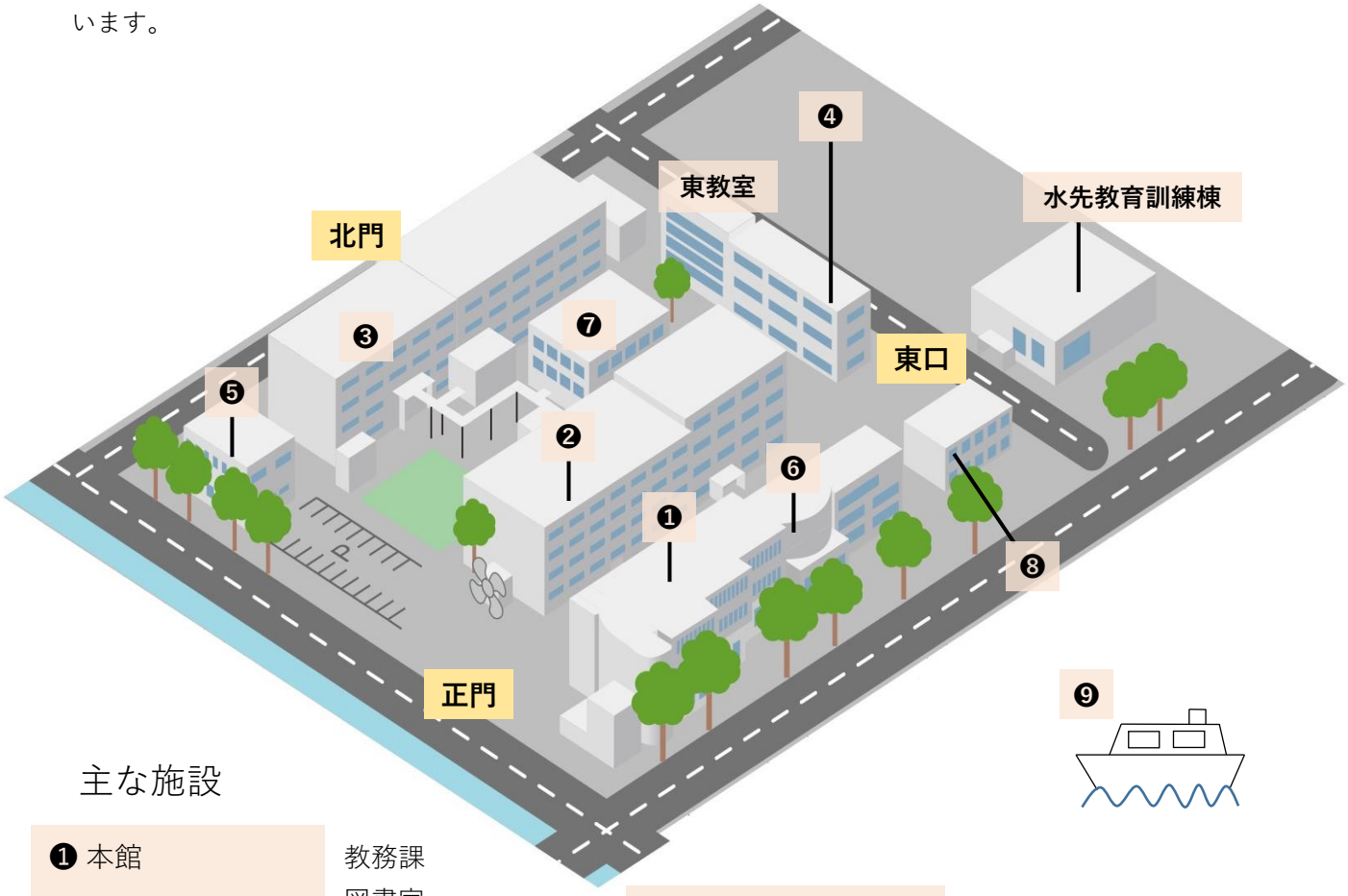
4月 April
- ❸乗船実習開始▲

9月 September
- ❸乗船実習終了▲
- 卒業式▲



CAMPUS MAP

北は六甲山を背に南には大阪湾が広がる自然豊かで穏やかな町、兵庫県芦屋市に海技大学校はあります。
校内には、学生寮や講義室、様々な実習施設が備わっており、学生の皆さんの学習活動と学生生活を支えています。



主な施設

❶ 本館	教務課 図書室 東洋建設アリーナ （講堂・体育館） 電波計器実験室 レーダ観測実験室
❷ 西教室	研修生控え室 海図製図室 第二操船シミュレータ
❸ 学生寮	学生食堂 学生課
❹ 第一実習実験棟 （機関訓練センター）	配電盤シミュレータ室 技能室 工作室 ERS室
❺ 第二実習実験棟	第一制御実験室 GMDSSシミュレータ タンカーシミュレータ
❻ 第三実習実験棟	ボイラ・蒸気タービン実験室 機関室シミュレータ 第一操船シミュレータ
❼ 第四実習実験棟	多目的教室 機関工場 PC演習室 補機実験室 材料実験室 推進実験室 レーダARPAシミュレータ タグシミュレータ 運用技業室 適応操舵システム実習室
❽ 内燃機関実習実験室	主機リモコンシミュレータ
❾ 校内練習船	海技丸

❶本館

図書室

海事関係の図書、雑誌を中心に４万冊以上の資料が、電動式移動書架に収納されています。

東洋建設アリーナ（講堂・体育館）

放課後はバスケットボール、バドミントン、フットサル等を楽しむことができます。
入学式や卒業式の時には、この空間が可動式装置で講堂に早変わりします。

❷西教室

西教室

座学教室、海図製図室、第二操船シミュレータ室などがあります。

❺第二実習実験棟

ＧＭＤＳＳシミュレータ

「ＧＭＤＳＳ」とは、「全世界的な海上遭難安全システム」の意味です。従来、通信士が行っていたモールス信号による通信手段に取って代わり、航海士、船長、機関士、機関長がこのシステムを用いて通信を行うことになりました。

GMDSSシミュレータ

❻第三実習実験棟

ボイラ実習室

ボイラ

船用ボイラ及び付属装置に関する、構造・作動原理・運転保守・故障処理などの必要な知識を習得します。

機関室シミュレータ

主機関等は実船と機器を模擬した設備が装備され、リアルな運転音と共に、臨場感あふれる環境が再現されます。トラブルシューティングの訓練も、危険を伴うことなく実施できます。初心者はもちろん、上級の現役マリンエンジニアの技能の維持、向上にも対応する機器です。

機関室シミュレータ

操船シミュレータ

大型タンカーやコンテナ船、自動車運搬船など、まさに実船さながらのブリッジ。景観も、東京湾やシンガポール海峡など実際の海域を忠実に再現しています。シミュレータでは同じ状況下での訓練が繰り返し行えるだけでなく、非常時の対処訓練が可能です。

❼第四実習実験棟

機関工場（工作実習）

機関士として必要な基本的及び実務的知識、トラブル等を解決する能力を習得します。溶接、旋盤など船内の工作作業に関する、安全対策、基本的な手順について説明できることを目標とします。

機関工場

レーダ・ARPAシミュレータ

レーダ・ARPAシミュレータ

レーダ・ＡＲＰＡ（自動衝突予防援助装置）、ＥＣＤＩＳ（電子海図情報表示装置）、ＡＩＳ（船舶自動識別装置）の操作に習熟するための訓練を行うシミュレータで、実際の船橋と同様の機器が装備されています。また複数のブリッジや視界再現装置、タグボートの操縦装置も装備しているため多彩な訓練が可能です。

❽内燃機関実習実験室

ディーゼルエンジン

現在、舶用主機のほとんどを占めるディーゼルエンジン。実際にそれを運転・操作することにより機関システムの理解を深めることができます。また、ガスタービンに関する基礎的な学習も行います。

ディーゼルエンジン

❾校内練習船

海技丸

校内練習船「海技丸」は小型ながら現場を知るための強い味方。航海・機関共に、大阪湾や神戸港で実習を行います。

外観

学生寮

学生寮はキャンパス内にあり、鉄筋５階建、冷暖房設備を備えています。**ホテルなど一般の宿泊施設と比べて設備は質素ですが、教室にも近いことから、勉学に際しては恵まれた環境となっております。**居室の他に食堂、浴室、シャワー室、談話室、娯楽室、自習室、洗濯室等があります。女性専用区画も設けられており、**近隣にはコンビニ、スーパー、ドラッグストア等があります。**

個室

食堂

【施設・設備】

•居室（シングル、ツイン）
　ベッド（毛布４枚、シーツ２枚貸与）、冷蔵庫、デスク、ロッカー、冷暖房完備

•共有スペース
　学生食堂、談話室（テレビ有）、飲料自動販売機、
　簡易調理室（ＩＨヒーター、電子レンジ、トースター有）、
　娯楽室（テレビ有）、屋上（物干）

•男性用施設・設備
　トイレ、洗濯機・乾燥機（無料）、浴場、シャワーブース（ドライヤー有）

シャワー室

•女性用施設・設備
　トイレ、洗面室、洗濯機・乾燥機（無料）、ユニットバス、シャワーブース（ドライヤー有）

•その他
　お部屋の指定はできません。学生寮西寮は現在、１人部屋となっております。
　貸与する寝具の他に布団や枕が必要な場合は、ご自身でご用意ください。
　学生課において、アイロンの貸出を行っております。
　寮内にエレベーターはございません。
　洗面用具、洗濯用洗剤、タオルのご用意はございません。

【留意事項】

　主な留意事項は以下の通りです。
•門限は２２時３０分です。門限以降、明朝７時００分まで出入りできません。
•屋上の利用時間は7時から18時です。
•平日の昼食のお弁当を希望される方は各自注文してください。（一食５００円）
•宿泊者以外の方を、居室区画（学生寮２階以上）に立ち入らせることは、防犯上禁止されています。
•自動車通学及び校内駐車並びに自動二輪車通学及び校内駐輪は禁止されています。
•自転車は長期宿泊者のみ駐輪可能です。
•居室内をはじめ、寮内は全面禁煙です。1Fの喫煙室がご利用いただけます。

就職実績

万全の就職サポート体制

担任教員・学生課が中心となり、それぞれの目指す進路に向かって全力でサポートいたします。
1人で悩まずに、ぜひ相談してください。

2024年度実績

就職率（海上技術コース（航海専修））　**100.0%**

就職率（海上技術コース（機関専修））　**100.0%**

Point!

1　求人情報を集約、一元管理し、学生に提供
2　海運企業との迅速かつ緊密な連絡体制
3　学生へ船社訪問のアドバイス
4　就職活動説明会開催
5　個別の就職指導・相談を随時実施
6　進路希望の調査を実施

ー過去３年間の主な就職先ー　※海上技術コース（専修）のデータ

企業

・MOLマリン＆エンジニアリング株式会社
・旭汽船株式会社
・旭タンカー株式会社
・上野トランステック株式会社
・鹿児島船舶株式会社
・株式会社カネトモ
・株式会社商船三井さんふらわあ
・株式会社東栄ジャパン
・株式会社ビーアンドエス・エンタープライズ
・株式会社名門大洋フェリー
・川崎汽船株式会社
・ケイラインローローバルクシップマネージメント株式会社
・五栄土木株式会社
・正栄汽船株式会社
・昭和日タンマリタイム株式会社
・新日本海フェリー株式会社
・菅原汽船株式会社
・第一中央汽船株式会社
・第一中央内航汽船株式会社
・第一マリン株式会社
・田頭海運株式会社
・種子屋久高速船株式会社
・田渕海運株式会社
・ニッスイマリン工業株式会社
・日本海洋事業株式会社
・八馬汽船株式会社
・春山海運株式会社
・美須賀海運株式会社
・リベラ株式会社

官公庁等

・独立行政法人海技教育機構

就職活動

1年次の冬頃から就職活動が本格的にスタートします。
在学期間中の就職活動は、海上技術コース（専修）の学生は1年次の1月頃から、海上技術コース（専攻）（一般入試による入学者）の学生は2年次の4月頃から始まります。
海上技術コース（専攻）（一般入試による入学者）の学生は、2年次の4月～9月までの6か月間、就職活動時期が設けられており、集中して就職活動に取り組むことができます。
進め方は人それぞれですが、自分の希望する進路に進めるよう、入学時から二級海技士、一級海技士の筆記試験に挑む学生も少なくありません。

専修			専攻（一般入試による入学者のみ）		
1年次	4月	入学式、オリエンテーション ・入学時のオリエンテーションで就職状況を説明します。また、海運関係者による海運界の現状説明をします。	1年次	4月	入学式、オリエンテーション ・入学時のオリエンテーションで就職状況を説明します。また、海運関係者による海運界の現状説明をします。
	10月	ＪＭＥＴＳ大型練習船 乗船実習開始		1月	ＪＭＥＴＳ大型練習船 乗船実習開始（航海専攻） 機関訓練センター 陸上訓練開始（機関専攻）
	12月	ＪＭＥＴＳ大型練習船 乗船実習終了		3月	ＪＭＥＴＳ大型練習船 乗船実習終了（航海専攻） 機関訓練センター 陸上訓練終了（機関専攻）
	1月	就職活動説明会実施、会社説明会へ参加 ・希望の会社や船の種別、勤務地についてのアンケートを実施	2年次	4月	就職活動説明会実施、会社説明会へ参加 採用面接、公務員試験等の就職活動
2年次	4月	採用面接、公務員試験等の就職活動		10月	ＪＭＥＴＳ大型練習船 乗船実習開始
	7月	ＪＭＥＴＳ大型練習船 乗船実習開始		12月	ＪＭＥＴＳ大型練習船 乗船実習終了
	9月	ＪＭＥＴＳ大型練習船 乗船実習終了	3年次	4月	ＪＭＥＴＳ大型練習船 乗船実習開始
	3月	卒業式		9月	ＪＭＥＴＳ大型練習船 乗船実習終了 卒業式
三級海技士国家試験（口述試験）受験			三級海技士国家試験（口述試験）受験		

三級海技士国家試験合格率

年度	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
科別	航海		機関		航海		機関		航海		機関	
コース	専修	専攻	専修	専攻	専修	専攻	専修	専攻	専修	専攻	専修	専攻
受験者数（人）	8	16	2	14	10	15	4	18	10	14	9	14
合格者数（人）	8	16	2	13	10	15	4	18	10	13	9	14
合　格　率	100.0%	100.0%	100.0%	92.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	92.9%	100.0%	100.0%

学費

海上技術コース（専修）

（２年間の概算）

入　学　料　（入学前納入）	１９４，９００円
授　業　料	７８０，０００円
教　科　書　代	７５，０００円
学　生　費　等	１６１，０００円

※　海上技術コース（専修）の学生費等は、健康診断料、保険料、航海訓練料、写真代及び自治会の費用等です。 1年前期の学生費には、作業着等の費用も含まれます。

海上技術コース（専攻）

（概算）

	一般（２年６か月）	推薦（２年間）
入　学　料　（入学前納入）	１９４，９００円	１９４，９００円
授　業　料	９７５，０００円	７８０，０００円
教　科　書　代	８５，０００円	８５，０００円
学　生　費　等	１０４，０００円	６７，０００円
実　習　訓　練　料　等	１６８，０００円 （１４，０００円×１２か月）	８４，０００円 （１４，０００円×１２か月）

※　海上技術コース（専攻）の学生費等は、健康診断料、保険料、写真代及び自治会の費用等です。
一般入学者は作業服等の費用が含まれます。

※　米国ビザ取得費用約30，０００円、国家試験申請手数料等が別途必要です。

〈留意事項〉

・受験申請時、入学検定料として３０，５００円が必要です。
・納入された入学検定料・学費は原則として返還いたしません。
・入学後に教科書の追加購入がある場合は、改めてお知らせします。
・JMETS大型練習船の乗船実習時には厚生費及び乗船港までの移動費等が必要です。
さらに、遠洋航海実習時には、別途海外旅行傷害保険料が必要です。（加入者のみ）

寮費

下記の期間中、本校敷地内の学生寮に入寮可能です。

海上技術コース

（概算）

	専修（２年間）	専攻一般（２年６か月）	専攻推薦（２年間）
入寮可能期間	座学	座学、通信教育、陸上訓練（機関専攻のみ）及び就職・人材育成支援	座学、陸上訓練（機関専攻のみ）
寄宿料	４，０００円（月額）		
寮生費	２０，０００円（月額）		
総額	３８５，０００円	航海：約４３２，０００円 機関：約５０４，０００円	航海：約１６８，０００円 機関：約２４０，０００円

〈留意事項〉

・入寮者は、寮閉鎖期間中、学生寮に滞在することはできません。

・総額は入寮可能期間すべてに入寮した場合の費用です。

・支払いは月単位で、日割りには対応していません。

・寮生費は、水道光熱費、レンタル寝具洗濯代等の費用です。

・食費は上表に含まれておりません。

奨学金（貸与型）及び教育訓練給付金

海技教育財団

対象コース	・海上技術コース（専修） ・海上技術コース（専攻）（一般のみ）
入学準備金	１０万円、２０万円、３０万円、４０万円、５０万円から1つ選択
貸与	２万円、３万円、４万円、５万円、６万円から１つ選択
出願方法	入学後に申請

全日本海員組合奨学金

対象コース	・海上技術コース（専修）のみ
貸与	月額１０，０００円又は 月額１６，０００円
出願方法	入学後に申請

教育訓練給付金

海上技術コース（専修）、海上技術コース（専攻）一般入学者のみは厚生労働大臣が指定する専門実践教育訓練講座の対象です。

専門実践教育訓練給付金の受給には、受講開始の1か月前までに訓練前キャリアコンサルティング等の事前手続きが必要です。

出願前に各自で受給資格を満たしているかを確認し、入学前に各自で手続きを行ってください。

詳細は厚生労働省教育訓練給付金のHPをご確認ください。

専門実践教育訓練講座HP（https://www.mhlw.go.jp/content/001310413.pdf）

Campus Life

ある1日のタイムスケジュール（例）

	時限	科目
1時限	8：30～　9：20	船舶力学
2時限	9：30～10：20	船舶力学
3時限	10：30～11：20	航海学Ⅱ
4時限	11：30～12：20	航海学Ⅱ
	～お昼休憩～	
5時限	13：10～14：00	海事法規
6時限	14：10～15：00	海事法規
7時限	15：10～16：00	船舶工学Ⅱ
8時限	16：10～17：00	船舶工学Ⅱ
	～放課後（クラブ活動など）～	

平日は空きコマがある日もありますが、1日中授業や実習がある日が多いです。

Check! －他学生との交流－

海技大学校には以下のようなクラブ活動があります。

・カッター部：カッターとはオールを漕いで進ませる手漕ぎボートの一つです。日々練習に励んでおり、時には、他校の学生とタイムを競うカッターレース大会などに出場しています。
・英語部：英語の先生が顧問となり、例年多くの学生が入部しています。

学生たちは毎日、授業で忙しい日々を過ごしていますが、時には同じ校舎で学ぶ他学生と汗を流すのも良いでしょう。
放課後の時間を有効活用して、海技大学校での学び＋αを見つけませんか。

また、開発途上国の商船教育機関卒業者、船員および海事関係者を対象にしたコースがあり、外国人研修生との交流もあります。

Voice!

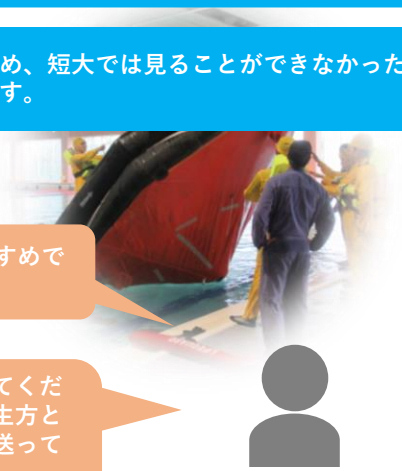
本校を卒業した学生からのメッセージです。

海上技術コース（専修）卒業生

上級海技士国家試験の筆記、第三級海上無線通信士やTOEIC等の資格は就職活動で有利になります。一年生のうちに取りきることがベストです。

短大では学生の多くが就職を選択する中、進学を選ぶのは勇気がいることだと思います。心細いとは思いますが応援しています。今も忙しいと思いますが、よく遊び楽しむことも忘れずに！

短大で学んだことをより深め、短大では見ることができなかった広い世界を見ることができます。



国家試験は前もってコツコツ覚えるのがおすすめです。頑張ってください。

海技大学校の先生は疑問を解消し切るまで学生に付き合ってくださるので、やる気次第で大きくレベルアップできます。先生方と密にコミュニケーションをとりながら充実した学生生活を送ってください。
あと、海技丸の食事は絶品なのでお楽しみに。

海上技術コース（専攻）卒業生

海洋立国・日本の将来を担う人材を

日本から世界の海へ羽ばたく船員を育てます！

海技大学校で学ぶ意欲ある学生を、

ぜひお待ちしております！

所在地

〒６５９-００２６
兵庫県芦屋市西蔵町１２-２４
独立行政法人海技教育機構　海技大学校

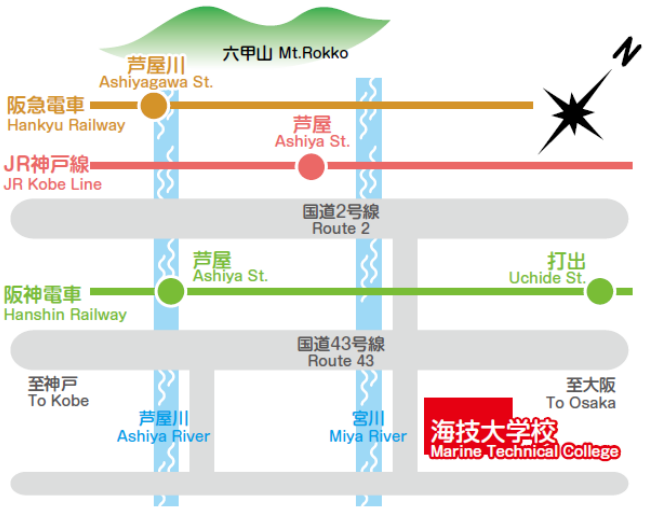
お問い合わせ先

教務に関すること
TEL：０７９７－３８－６２１１　（教務課）
Mail：contact-kyoumu-kaidai@jmets.ac.jp
学生寮や就職に関すること
TEL：０７９７－３８－６２３４　（学生課）
Mail：contact-gakusei-kaidai@jmets.ac.jp

〈対応時間〉
月曜日～金曜日
9:00～12:20、13:10～17:00
（土日祝日及び年末・年始を除く）

海技大学校公式サイト
海技大学校
https://www.jmets.ac.jp/kaidai/

（独）海技教育機構公式サイト
海技教育機構
https://www.jmets.ac.jp/



JMETS大型練習船の
寄港地の情報や
行動予定が
チェックできます！

JMETS大型練習船
行動予定
▼

（独）海技教育機構公式アカウント

海技教育機構
公式Facebook

海技教育機構
公式X（旧Twitter）

海技教育機構
公式YouTube

海技教育機構
公式Instagram

2025.5